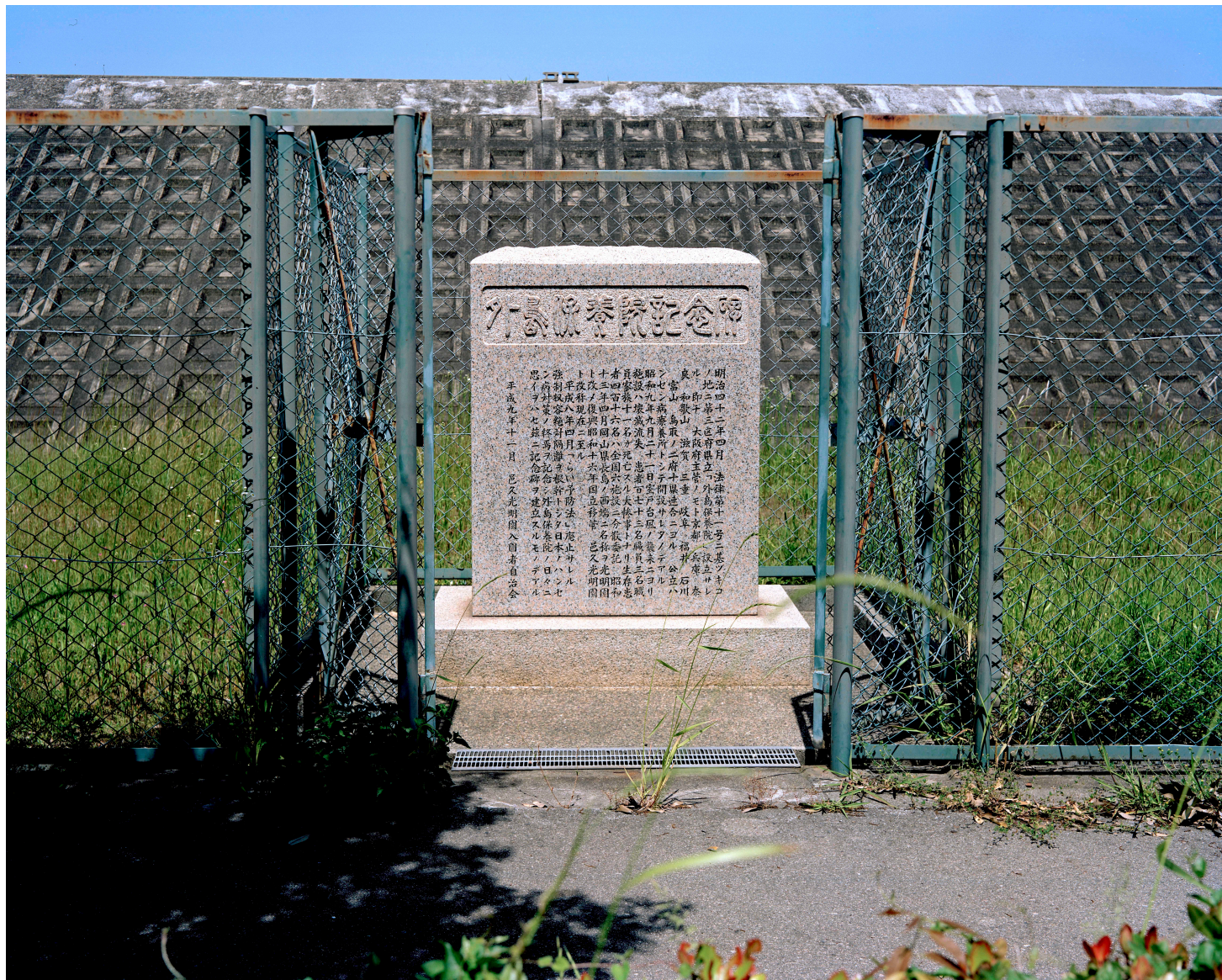




〈外島保養院記念碑〉「外島保養院」より（2023年）

大阪にあったハンセン病療養所

The former leprosy (Hansen's Disease) sanatorium in Osaka

木村 直 | Choku KIMURA

トークイベント

会期中に企画展示「大阪にあったハンセン病療養所」トークイベントを実施します。

2025年8月8日（金） 15:00～16:30

参加無料・要申込

出演：木村直（アーティスト・写真家）

伯龍（アーティスト・陶芸家）

黒尾 和久（重監房資料館 部長）

会場：人権ライブラリー 多目的スペース（定員40名）

オンライン配信（定員なし）

詳細・申込方法は、人権ライブラリーのウェブサイトをご覧ください。



会期：2025年7月4日（金）— 8月15日（金）

開館時間：9:00— 17:00

休館日：土日・祝日

入場無料

会場 人権ライブラリー 企画展示スペース

東京都港区芝大門2-10-12 KDX 芝大門ビル 4F

主催 （公財）人権教育啓発推進センター

TEL 03-5777-1919 FAX 03-5777-1954

アクセス

最寄駅 JR 山手線・京浜東北線／東京モノレール

浜松町駅（貿易センタービル南館直結出口から徒歩7～8分、北口から徒歩9～10分）

都営地下鉄三田線 芝公園駅（A3出口から徒歩3～4分）

都営地下鉄大江戸線・浅草線 大門駅（A3出口から徒歩4～5分）

外島保養院は、1907(明治40年)に公布された「癩予防ニ関スル件(法律第11号)」に基づき、全国5ヵ所に設置された公立療養所の一つとして、1909(明治42年)に現在の大阪市西淀川区に開設されました。しかし、1934(昭和9年)9月21日未明、史上最大規模の「室戸台風」が高知県室戸岬付近に上陸し、大阪を含む京阪神地方に甚大な被害をもたらしました。外島保養院の施設はほぼ全壊し、わずかな時間で入所者173人、職員3人、職員家族11人(当時の入所者597人の約3割)、そして施設拡張工事関係者9人と多くの命が奪われました。これらの主因は、療養所に適さない1級河川の河口、海拔ゼロメートル地帯に建設されたことが原因でした。さらに、差別を背景とした反対運動により移転計画が実現せず、これが災害をさらに深刻化させたため、「ハンセン病への差別が生んだ人災」とも言われています。

現在、外島保養院の跡地は工場地帯として再開発され、当時の面影はほとんどありません。この状況は、未来の全国のハンセン病療養所の一つの姿なのではないかと考えました。それほどに、日本全国のハンセン病療養所は次世代への継承をどのように行うか、展望は見えず、ハンセン病療養所で暮らしている人々や暮らした人々の声はかき消されていくようです。

参考文献:「大阪にあったハンセン病療養所 外島保養院」外島保養院の歴史をのこす会(2017年)



「大阪にあったハンセン病療養所」千鳥文化ホール 展覧会風景(2025年)



〈日本通運付近〉「外島保養院」より(2023年)

木村 直 Choku KIMURA | アーティスト・写真家

1998年生まれ。東京藝術大学美術研究科先端芸術表現専攻修士課程卒業。Bauhaus-Universität Weimar交換留学。

「生活の場としてのハンセン病療養所の記録と継承」を主軸に、写真・映像・インスタレーションを用いて制作活動を行う。2歳ごろから両親に連れられ、国立療養所沖縄愛楽園(ハンセン病療養所)に訪れる。20歳の頃に国立療養所松丘保養園(ハンセン病療養所)に訪れ、現在は松丘保養園の内と外を繋ぐ理念の元、『ばっけ通信』(ふきのとうの会)の編集長も行なっている。2021年「T3 PHOTO FESTIVAL STUDENT PROJECT」グランプリ受賞 2022年「第9回500m美術館賞入選展」グランプリ受賞

会期:2025年7月4日(金) — 8月15日(金)

開館時間:9:00 — 17:00

休館日:土日・祝日

会場 人権ライブラリー 企画展示スペース

東京都港区芝大門2-10-12 KDX 芝大門ビル 4F



トークイベント申込記入欄 参加票を送付しますので、FAX もしくは住所のいずれかを記入してください。 FAX 送付先 03-5777-1954

団体(法人名等)・部署名:

お名前:

電話番号:

FAX 番号:

住所: 〒